Emanage（エマネージ）は電気工事会社のあり方を変えるかもしれない。

三興電機株式会社
代表取締役社長
内藤　憲司様

三興電機株式会社様　神奈川県横浜市

**神奈川県横浜市の三興電機株式会社様は、
今秋発売されたエマネージシステムを
いち早くテナント入居するビルの自社フロアに設置。
今後は運用ノウハウを蓄え、
お客様にビル全体の省エネを積極的にご提案し、
元請け比率を高めることを目指されています。**

三興電機様は、東京、神奈川、千葉で電気設備の
改修工事を主な業務にされています。
社員様は17名。「おもしろいと思った仕事をする」
「未来に繋がる仕事をする」のが行動指針です。

簡単なシステムで
ビル全体のエネルギーを管理

三興電機株式会社様は、パナソニックのEM工事会社制度にご登録いただき、エマネージシステムを本社が入居するビルにご導入されました。三興電機様はこれまで受変電設備工事を主力で手掛けられ、省エネをひとつの大きなテーマに掲げてこられました。LED照明器具や空調設備の改修など省エネ関連の案件が1/3を占めていましたが、BEMS（ビル・エネルギー・マネジメントシステム）については初めてのお取り組みです。

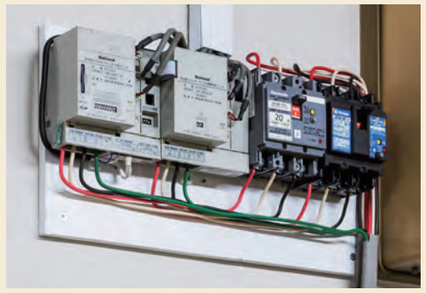
代表取締役社長 内藤憲司様は、従来から新しいことに積極的にチャレンジする姿勢で経営をされてきました。今回のパナソニック担当者からのエマネージご提案時も、「おもしろそうだ」と即決されました。「簡単なシステムでビル全体のエネルギーが管理でき、電力コストを下げることが可能だと瞬時に感じました」と内藤社長はおっしゃいます。エマネージは、今後の電気工事会社のあり方を変えるかもしれないと考えられた内藤社長様。お客様にご提案する前に、まず自社で使用してノウハウを蓄えようというのが今回のご導入の理由でした。

▲ エマネージパルス検出ユニット

執務フロアすべてのエネルギーをエマネージで計測

エマネージシステムの導入に際して社内担当をされたのが、営業部主任 新井美里様です。電気工事の現場はまだ男性が多いのが実情ですが、内藤社長様は女性の力を積極的に活用するというご方針。新井様も2級施工電気工事管理士の資格をお取りになり、営業はもちろん、現場代理人を勤めるなど最前線でもご活躍です。

三興電機様が入居されているビルは4階建て。駐車場と倉庫になっている1階部分を除き、2～4階の執務フロアすべてをエマネージシステムで電力計測できるよう設計されました。多回路エネルギーモニタで計測を行い、メインで使用されている3階の照明をタイマー制御で、空調はリモートI/Oユニットで制御する構成になっています。「施工に関しては、最初に全体の計画をしっかり立てておけばまったく問題ありませんでした」と新井様。導入の際は、施工監修などパナソニックのサポートを高く評価していただきました。11月初旬に運用を開始したばかりですが、今後は計測したデータを分析してどのように省エネにつなげるか、また、そのノウハウをお客様にどう提案していくか考えていきたいとのことです。



▲ 多回路エネルギーモニタ

三興電機株式会社様　神奈川県横浜市

設備を設置して終わり、では今後の展望はない

三興電機様の創業は1979年ですが、内藤社長様が他社から社長として着任されたのは8年前。財務的にも厳しい状況でしたが、新しいことにチャレンジして少しずつお客様を増やし、技術を蓄え、経営を建て直してこられました。内藤社長様はこれまで、「同業他社の下請けはしない」「労務提供だけの仕事はしない」という2つのルールを頑なに守ってこられました。ときには仕事が減って苦しいときもあったそうですが、その方針を守り続けたことが現在の状況につながっているとおっしゃいます。

三興電機様の元請け比率は約30%。それを今後、もっと引き上げたいとのビジョンをお持ちです。エマネージシステムを活用してビル全体の省エネを提案するエネマネビジネスは、このビジョンにまさにふさわしいものでした。「電気工事会社は、設備を設置してそれで終わり、配線を工事して終わりというのがいままでの姿でした。これからはそれだけで事業展開は望めない時代になっています。工事量も減ってきました。今後はエネルギー管理、省エネ提案といった、ソフト面に重きを置いていきたい」と内藤社長様は新たなビジネスを展望されています。現在は、補助金を活用し、省エネ関連機器であるLED照明器具あるいは空調設備のリニューアルとエマネージを組み合わせたご提案をお客様にされていて、興味を示されるお客様もすでにおられるとのこと。内藤社長様は補助金が活用できる間に運用ノウハウを蓄え、将来的には省エネ提案、設備導入提案を一括でできるコンサルタント業務を視野に入れておられます。

「エマネージシステムを導入した後、それからお客様と継続的なお付き合いが生まれてくると予想しています。どんどん仕事の幅が広がるのではないでしょうか」と新井様もシステム導入後の展開に期待されています。

▲ 営業部主任 新井美里様　営業のみならず、2級施工電気工事管理士として、2度の育児休暇を取得後も現場の最前線でご活躍。

変化を恐れず、常に新たなビジネスチャンスを探る

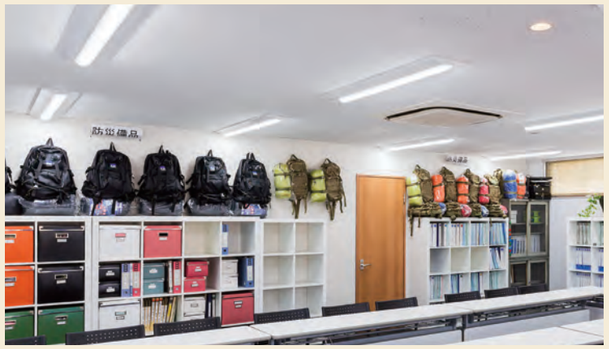
三興電機様は労務の外注を減らし、できるだけ直営工事にしていくとの方針です。そのための技術者の人材育成にも熱心で、当初3名だった技術者が現在は8名。中にはまったくの未経験で他業種から転職してきた方もいらっしゃいますが、いまでは立派な戦力です。現在、70～80%は直営工事だということです。内藤社長様が社員様に常々言われているのは「変化を恐れるな」ということ。改修工事が主な仕事ですので、新築と異なり、工期や工事内容もさまざまですが、つねに新しい仕事に取り組む姿勢が大切とおっしゃいます。「同じような工事の繰り返しになるから、うちはマンションの仕事もしません」と徹底されています。

変化を恐れず、新しいビジネスチャンスをつねに探る。そして、元請け比率を高めて、利益率の向上を目指す。この2つに、エマネージシステムを活用した「エネマネビジネス」が合致したといえるでしょう。

▲ 営業管理部 浅見有加様とエマネージシステムの「心臓部」であるEmanageコントローラ。
浅見様は事務職で入社後、「現場に出ないか」と内藤社長様から誘われて「おもしろそう」と現場監督に。「まわりはほぼ100%男性。その中で頑張っています」

すぐ、お客様のところへ駆け付けられるように

三興電機様の4階フロアには、寝袋をはじめとした防災用品が社員様の人数分用意されています。「万一のとき、まっさきにお客様のもとへ駆けつけるのがわれわれの役割」と内藤社長様。電気工事会社として高い使命感をお持ちです。



▲ 事務所フロアには省エネ機器の先鋒である一体型LEDベースライトiDシリーズをご採用。
壁面には社員様人数分の防災用品を常備。